

第 2 3 5 回 教育研究評議会議事要録

日 時 令和 6 年 2 月 2 0 日 (火) 1 5 時 3 0 分～1 6 時 0 5 分

場 所 大学本部棟 5 階第 1 会議室

出席者

(評議員) 中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内・小林 各理事、塙 副学長
服部・小泉・中山・鈴木 各学域長、幸田附属図書館長
高橋・田中・谷口・郷・武井・大山・石平・川村 各教授
(列席者) 長谷川・井上・小谷・岸上 各学長補佐、齋藤・八巻監事
志村・土屋・深澤・種田・壬生・窪田・望月・石原 各部長
中村・植村・望月・岩元・白澤・大森・雨宮・千野・石井 各課長

議事要録確認

第 234 回教育研究評議会 (R6. 1. 16 開催) 議事要録を確認した。

報告事項

1 学生の懲戒について

奥田理事から、工学部専門科目の中間試験において不正行為を行った学生 2 名に対し、本学学則第 40 条に基づき、停学処分を行ったことについて報告があった。

2 能登半島地震に係る学生等への支援について

奥田理事から、資料 1 により、能登半島地震で被災した学生の修学機会の確保などの観点から、実施または検討している標記支援について報告があった。

3 令和 6 年度山梨大学一般選抜志願状況 (確定値) について

奥田理事から、資料 2 により、標記志願状況 (確定値) について報告があった。

なお、工学部の倍率が課題であり、その要因としては、改組の内容に関する受験生や高校側への周知が十分でなかったと思慮されるため、来年度入試に向け、戦略的な入試広報を実施していく旨の補足説明があった。

中村学長から、各所において広報活動を行っているが、その効果等の検証に更に力を入れてほしい旨の発言があった。

4 知財活用による社会貢献について (外部資金の増加につなげる循環システムの構築と運用)

市川理事から、資料 3 により、大学発ベンチャーの創成を継続的に促進するための標記循環システムの構築等を行うことについて報告があった。

5 ホームページ等 Web サイトの取り扱いについて

片田理事から、資料 4 により、標記取扱いを適切に行っていくため、全学的に確認及び見直し等を行うことについて報告があった。

中村学長から、学生等閲覧者の目線を取り入れ、必要な情報を提供してほしい旨の発言があった。

6 教員の採用（昇任）報告について

片田理事から、資料5により、大学院総合研究部会議等の選考を経て学長が発令した教員3名の採用（採用2名、昇任1名）について報告があった。

7 専門業務型裁量労働制に関する同意について

片田理事から、資料6により、令和5年3月の労働基準法改正に伴い、令和6年4月以降、専門業務型裁量労働制を適用するためには、労使協定の有効期間ごとに手続き（本人の同意を得る）が必要となることについて報告があった。

審議事項

1 研究推進・社会連携機構の改組（案）について

市川理事から、資料7により、令和6年度概算要求（教育研究組織改革分）を活用し、研究力強化等のため、令和6年4月に標記機構の改組を行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 福島大学との連携に関する協定の締結（案）について

市川理事から、資料8により、カーボンニュートラル社会の実現に向け、再生可能エネルギー・水素の活用促進を図るため、標記協定を締結することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 令和6年度学内研究プロジェクトの採択（案）について

市川理事から、資料9（回収資料含む）により、本学の強み・特色ある研究活動等に係る成果を社会に還元・実装するベンチャー企業の設立への支援を行う標記プロジェクトについて、審査の結果、5件を採択することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 学内規則の一部改正等（案）について

片田理事から、資料10により、センター関係の整備（統合オミクス研究センターの設置並びに山梨GLIAセンター及び国際流域環境研究センターの設置形態の変更）を、令和5年10月1日付で行うことが承認されたことに伴い、改正が必要な学内10規則に関し、所要の整備を行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 令和6年度研究休職者（案）について

片田理事から、資料11により、標記休職者の申請（1名）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 特命教授の称号授与候補者（案）について

片田理事から、資料12（回収資料含む）により、標記候補者の推薦（1名）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 大学管理スペースの使用許可（案）について

市川理事から、資料13により、標記使用許可26件について説明があり、審議の結果、これを承認した。

その他

片田理事から、1月29日（月）～2月9日（金）に教職員及び学生に募集した義援金について、全学同窓会からの義援金(100,000円)と併せた合計1,034,795円を山日YBS厚生文化事業団「令和6年能登半島地震災害救援金」に寄附する旨の報告があった。

※次回は、令和6年3月19日（火）15時30分からの開催を確認した。